

## 検討会議（H26.6.12）及び意見等記入票での主な意見等

## 1 全体を通じた方向性に関すること

全体会での発言	意見等記入票で寄せられた意見
<b>【検討の方向性に関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的は統廃合することではなく、あくまでも<u>子どもたちの将来を見据えて</u>、それが青森県の将来であるということであり、そのような視点から検討していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まずは、基本的な柱を定め、それに基づき検討した方がいい。</li> <li>○ 本県の子どもたちを取り巻く環境の強みと弱点を十分に分析し、目指すべき教育をしっかりと固めることが大事。</li> <li>○ 将来構想検討会議において、しっかりとした本県高校教育の将来像を示すことで、各学校においては校長の指揮のもと、その将来像の実現に向け一層工夫ある学校経営がなされるものと思う。</li> </ul>
<b>【課題等に関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>少子化、多様化、グローバル化</u>、つながる力の4つがキーワードになる。</li> <li>○ 生徒、保護者、地域のニーズにどう応えるか。小規模校へのニーズと大規模校へのニーズは、基本的なところでは変わらない。</li> <li>○ 子どもたちを育てる基本の場所は家庭であり、子どもたちを中心に考えて、PTAと高校が一緒になって子どもたちを育ていきたい。</li> <li>○ 夢や志の実現に向けて果敢にチャレンジする子どもを育てていくのであれば、そのような子どもたちが行きたいと思うような高校であって欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これからの高校においては、生徒の学習、部活動、係・委員会活動、奉仕的活動など、全てが適切に評価され、社会人としての資質を培うことができる。そういう最高の「形」であることを切に願う。</li> </ul>

## 《講演》

- 今後、高等学校の将来構想を考える時に、いろいろな議論が出てくる中で、どこを基準に考えていったらいいのかという柱が必要になる。青森県教育振興基本計画では、人材の「材」の字に宝物の「財」を使っている。これが非常に重要なポイントになる。これからの将来を担う子どもたちをどうやって育てていくのか、生徒のためにこれからの教育をどうしたらいいのかということを真剣に考えていくことが原点であると考え。

【青森県が重視する視点に関すること】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>青森県独自</u>でよいと思う。全国に合わせる必要はない。</li> <li>○ 学校だけで子どもたちの育成ができるものではない。「<u>オール青森</u>」の視点で考えないと高校教育改革はできない。</li> <li>○ 生徒数が減少する中で、<u>学校の形</u>をどうしていけばいいのかという議論を深める必要がある。それが、第3次実施計画と違う部分になっていく。</li> <li>○ <u>選択と集中</u>がキーワードになる。選択と集中をしながら、多様性も維持できる学校の形ができないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県の現状を考えたとき、「急激な少子化。だから困った」ではなく、「少子化だから青森県はこんなことができる」という逆転の発想が必要。全国に比べて特に子どもの減少幅が大きい本県だからこそ、「<u>子どもが少なくなったことで、逆にできるようになったものは何か</u>」を考えるべき。</li> <li>○ 本県は<u>他県にない尺度</u>で、本県独自の教育を進めていくことを目指すべき。</li> </ul>
【検証に関すること】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>統廃合を進める中で実際にどうなったのか</u>という検証に基づいて、次の構想を考えていく必要がある。</li> <li>○ 答申して終わりではなく、答申した後の高校教育改革を検証するところまで含めないと、委員としての責任を果たせないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3次実施計画【後期】の実施にあたって、少なからず影響を受けた中学校としては、きちんと<u>検証</u>をしていただきたい。</li> </ul>

#### 《講演》

- 改革の次の動きとして、検証というものが大きな流れである。この検証をいかにするかによって、次の改革の手がかりが得られることになる。
- 検証をさらにしっかり行う必要がある。高校教育の質の保証というものが大きなテーマになってきており、また、更なる多様なニーズにどう応えるのか、財政投入に見合った成果が出ているのかなどの検証が必要であり、メリハリのある政策を立てていかなければならない。

## 2 どの学校でも共通して取り組むべきもの

全体会での発言	意見等記入票で寄せられた意見
<b>【不易に関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様性への対応と同時に、社会常識、勤勉さ、忍耐、礼儀、積極性、目標達成意欲、社交性、コミュニケーション能力、古典の素養などの不易を求めることも必要。</li> <li>○ 徳義心の涵養（思いやり、優しさ、勇気、正義感など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭での親の価値感が多様化する中、人間にとって本当に大切なものは何か、（命を受け継ぐことや、働くことの意味など）原点に戻った教育が絶対的に必要。オールマイティでなくとも、一人一人が、何か一つ好きなこと得意な事が、発揮できる学校であることが望ましい。</li> <li>○ 今後、社会から必要とされる人財には、学力や知識・技術だけでなく、<u>変化に対する順応性</u>や<u>情報収集能力</u>、<u>コミュニケーション</u>、<u>困難に負けない精神力</u>の強さなど、<u>人間社会における総合的な力</u>が必要になる。</li> <li>○ 自主的に考えたり、行動を起こす事が必要。</li> </ul>
<b>【キャリア教育に関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校の中で<u>たくさんの経験</u>をさせて欲しい。そういうシステムを望む。</li> <li>○ 高校でキャリア教育に触れながら、更に<u>レベルアップする部分について大学と連携する仕組みづくり</u>を考えていけると良い。</li> <li>○ 子どもたちが夢や志に向かって進むことのできる進路指導を行って欲しい。高校の教員が、人生の先輩としてのアドバイスをしたい。</li> <li>○ 目的意識のない高校生が多い。生徒には目標を持って欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行政や教育機関だけでなく、<u>民間団体、企業、地域とネットワーク</u>を広げ、高校生が様々な人とふれあう機会が必要。</li> <li>○ 「生きる」又は「生活する」という事に対してたくましい人間に育ててもらう事が必要。</li> <li>○ 何事も責任を持たせてやらせてみるのがよい。</li> <li>○ 子どもが目標を持つためには、社会に対する見方、自分の関わり方など、自分も社会の一員として生きている実感が必要。</li> </ul>

<b>【グローバル教育に関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>地元を愛し、地元へ貢献できる人財を育てることが大切。</u></li> <li>○ <u>外に出てみなければ、中の良さはわからない。</u>青森から一度も出ないという若者を作って本当に良いのか。県外・国外を含め、外の人と交流するダイナミックな教育を取り入れる必要があるのではないか。</li> <li>○ 数週間の海外交流でも、人間というのは変わっていく。グローバル人材の育成は、身近なところから始まる。高校でも、定期的に海外との交流をして、増やしていくことが、地元へ貢献できる人財の育成にもつながる。</li> <li>○ 教育の中で、<u>郷土愛</u>を教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>愛郷心</u>を高めること。(郷土の偉人の伝記、郷土の良さを教え、誇りを持たせる。)</li> </ul>
<b>【教員の資質向上に関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>教員の研修や資質向上</u>等も含めながら将来構想ができれば良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>志のある教育者・子ども達が尊敬できる教育者</u>がどれだけ青森にいるのか。子どもたちの教育と同様に、その人材を育て、増やしていかなければならない。</li> </ul>

《講演》

- 保護者や地域との連携・協力の拡大が必要である。学校評議員制度や学校関係者評価が機能しているかどうか。キャリア教育の充実のためには、特に地域との連携・協力が大切である。
- インクルーシブ教育システムをどう構築していくか。学び直し、基礎学力の向上が必要な生徒の対応をどう図るのか。

### 3 社会をリードする人財の育成として取り組むべきもの

全体会での発言	意見等記入票で寄せられた意見
<b>【リーダーの育成に関すること】</b>	
○ <u>社会をリードする人財の育成が必要。</u> ○ <u>東北や日本、世界の中で青森県の子どもたちが立ち向かっていくため、東青や西北といったレベルではなく、「オール青森」の視点で考えていきたい。</u>	○ 地域の団体をまとめあげるリーダーの存在が大切。「人のため」、「社会のため」に覚悟を決めれる人財が必要。

#### 《講演》

- グローバル化に向けた人材育成として、スーパーサイエンスハイスクールやスーパーグローバルハイスクールなどがあるが、グローバル化に向けた人材育成をどうするのか。

#### 4 高校の規模・配置に関して留意すべき視点

全体会での発言	意見等記入票で寄せられた意見
<b>【高校教育の機会の保証に関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>県内のどこに住んでいても、同じ教育を受けられることが大事。</u></li> <li>○ 親の経済力によって、子どもの貧困化が連鎖していくことを危惧。</li> <li>○ 数ありきの統廃合ではなく、<u>保護者や子どもたちの負担も考慮して、各地域からも話を聞いて学校配置を考えていただきたい。</u></li> <li>○ <u>小さいながらも地域に残して、郷土の祭りなどを継承していく学校も必要。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経済的に恵まれず、私立高校に進学できない生徒が、高校に進学したくても入学できる学校がないという状態を生まないような適正な配置をお願いしたい。</li> </ul>
<b>【充実した教育環境に関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校総体等の学校対抗の戦いに参画できる学校が何校あるか。そういう中で育った子どもたちが将来大きく育っていくのだろうと思うが、そういうことを経験できない子どもたちがいるということも考えたい。</li> <li>○ 部活をやるのであれば、<u>最低でも250人位の生徒がいると、好きな部活があって、活性化する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内のどこで生活していても同じ教育を受ける権利が子どもたちにはある。しかし、学級数で選択科目の制限があったり、専門の教師からの教育を受けることができなかつたりしているという現状がわかった。そういったことを考えると、決して今のままでは同じ教育を受けることはできない。子どもたちの未知なる可能性を広げていくためには、<u>多くの選択肢があり、子どもたちが自ら選択していけることが大切。</u></li> </ul>
<b>【統合方法に関すること】</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 閉校、廃止ではなく、<u>統合という形にして地域の皆様のご理解を得られるようにする。</u>その際には、両者の学校名を合体するか、或いは新たな学校名にして新しい学校として設立する。</li> </ul>
<b>【市町村や地域との関係に関すること】</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>地元市町村からの学校・生徒支援が非常に大事になってくる。</u></li> <li>○ 地域住民も単に学校がなくなると困るということではなく、一度地域から出ていった子どもたちが戻りたくなる地域づくりをしていかななくてはならない。</li> </ul>

#### 《講演》

- 一定の規模の活力ある学校を作らなければ、なかなか成果が上がらないのと同時に、高校教育の機会の保証ということが重要になってくる。小規模校の活性化についても検討する必要がある。